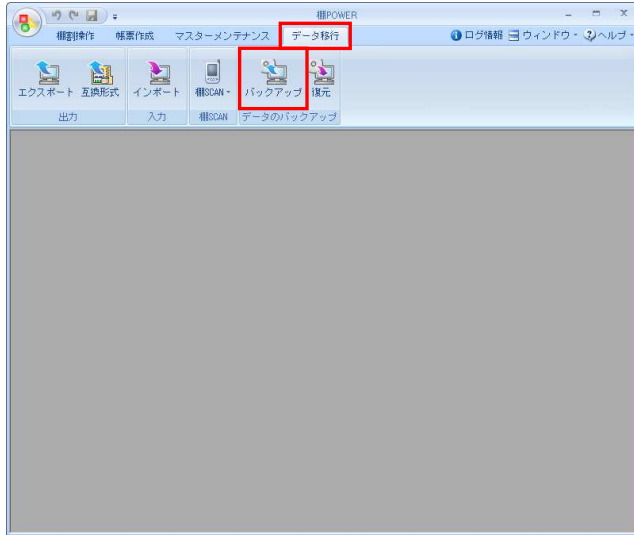
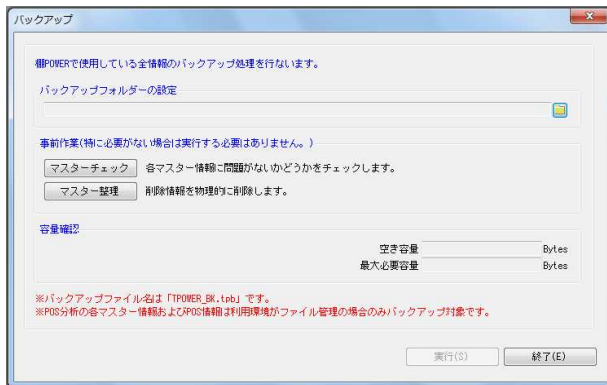


■登録している全データを別のパソコンに移行したい

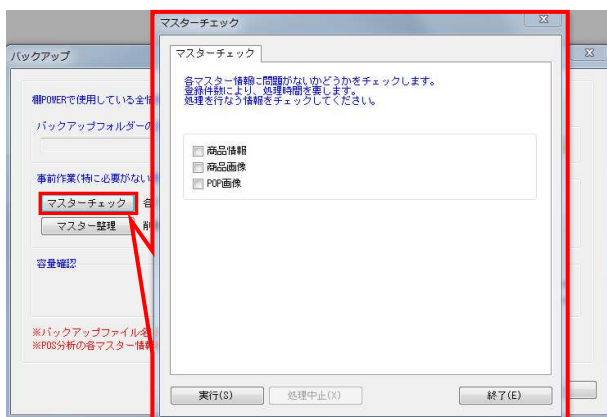
棚POWER に登録している全データは、バックアップをとることができます。
バックアップデータを復元することで、別のパソコンにも同じデータを丸ごと登録できます。
棚POWER を使用しているパソコンを新しく入れ換える場合や、担当者が変更になりパソコンが変わる場合などに活用できます。



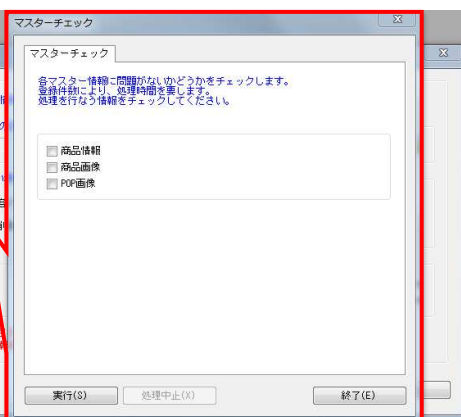
1. 「データ移行」タブ - 「バックアップ」をクリックします。

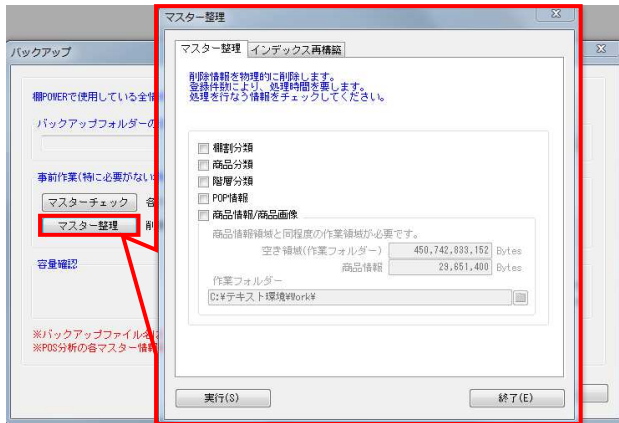


2. バックアップデータのファイルをどこに作成するかの設定を行なってから、バックアップ処理を実行します。



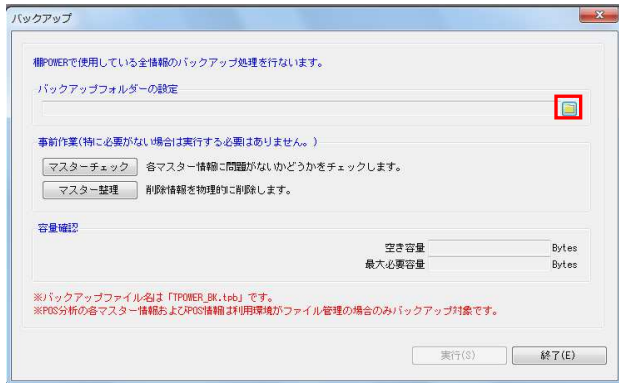
3. 事前に登録している棚POWER のデータに異常がないかを確認するには、「マスターチェック」をクリックし、チェックしたい項目を有効にして「実行」をクリックします。
(必要ない場合には実行しなくても問題ありません。)



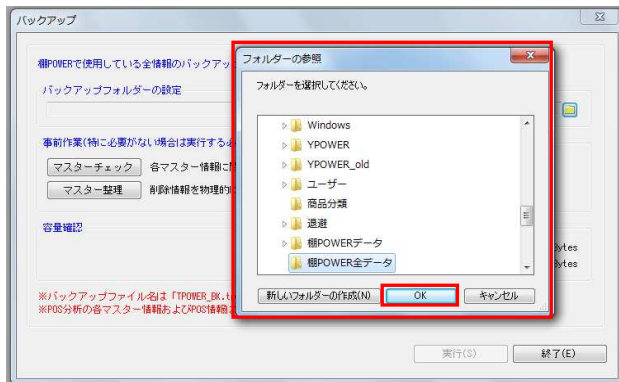


- さらに削除情報を削除してからバックアップを取りたい場合は、[マスター整理]をクリックし、削除したい項目を有効にして[実行]をクリックします。

※[マスター整理]の詳細に関しては操作マニュアルを参照してください。

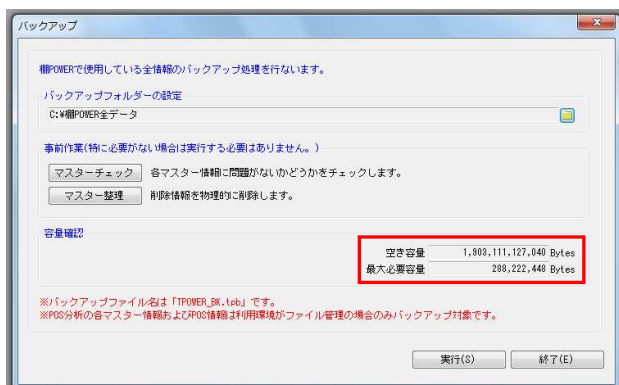


- バックアップデータを出力する場所を指定します。「バックアップフォルダーの設定」よりフォルダーアイコンをクリックします。

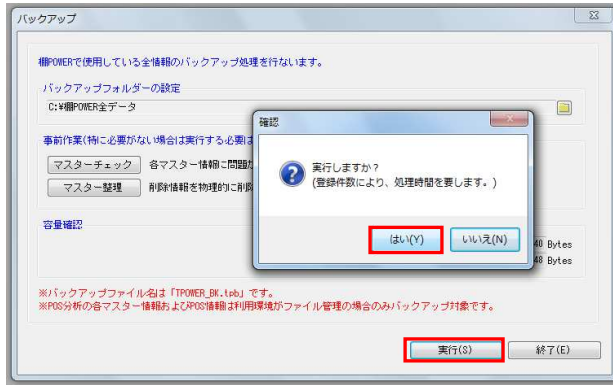


- [フォルダーの参照]より、任意の場所を選択して [OK] をクリックします。

出力先はお使いのパソコン内を指定してください。USBメモリやネットワーク上にも直接出力できますが、出力する速度が遅くなります。

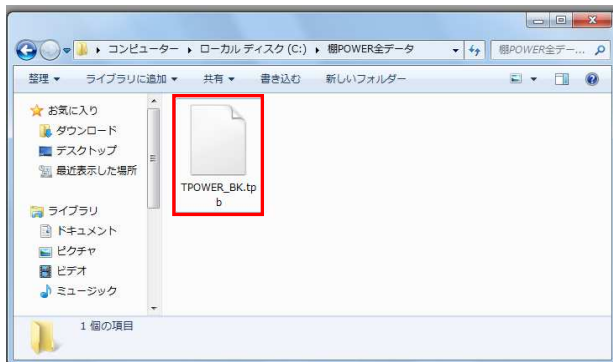


- 自動的に「空き容量」「最大必要容量」が算出されます。「空き容量」が十分であるか確認してください。



8. [実行]をクリックします。
確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。

バックアップ処理が完了すると、「終了しました」と確認メッセージが表示されます。
これでバックアップ作業が完了です。

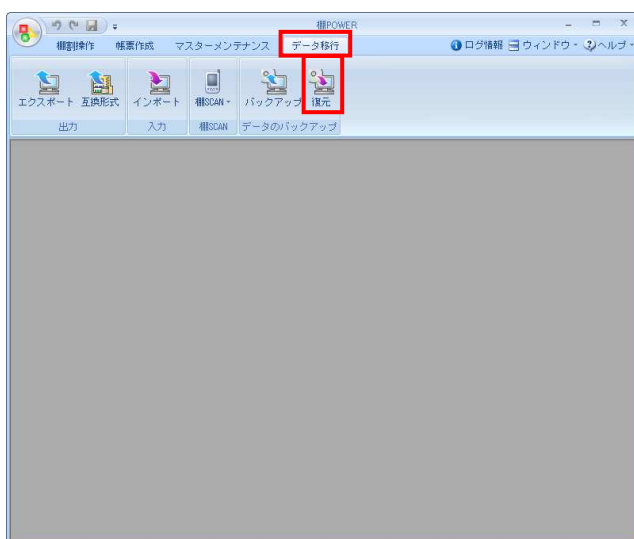


9. バックアップ処理が完了すると、出力先に指定した場所に「TPOWER_BK. tpb」ファイルが作成されます。

「TPOWER_BK. tpb」ファイルをコピー、または移動して別のパソコンに貼り付けます。
この「TPOWER_BK. tpb」ファイルを復元することで、バックアップを取った棚POWER と同じデータ、環境にすることができます。

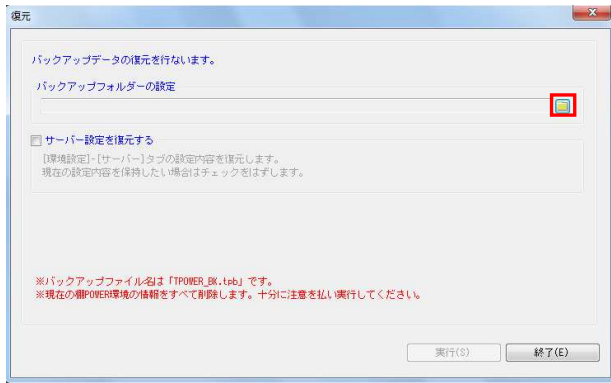
【復元時のご注意】

- バックアップのデータを復元する際、復元するパソコン内の既存の棚POWER データを初期化するため、既存のデータを残す必要がある場合は実行しないでください。
- 上位バージョンの棚POWERで出力されたバックアップのデータは復元できません。
必ず同じか、もしくは下位バージョンの棚POWERから出力したバックアップを使用する必要があります。
- 「TPOWER_BK. tpb」のファイル名は変更しないでください。

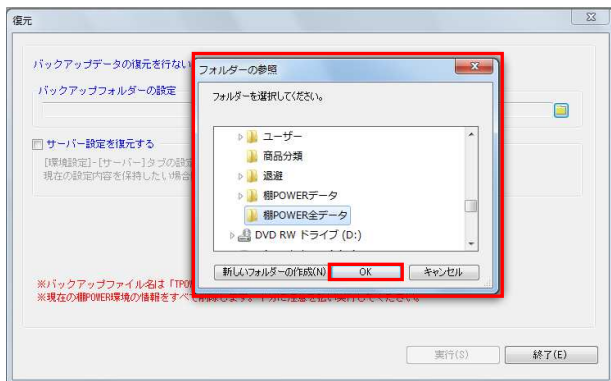


10. バックアップデータを復元します。

[データ移行] タブ - [復元] をクリックします。

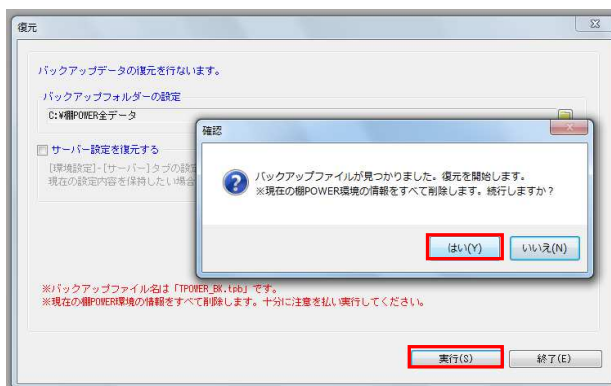


11. 「バックアップフォルダーの設定」のフォルダーアイコンをクリックします。



12. [フォルダーの参照] より「TPOWER _BK.tpb」を保存している場所を選択して [OK] をクリックします。

フォルダーの参照画面では、ファイルが直接参照されないため、ファイルを保存しているフォルダを選択する必要があります。

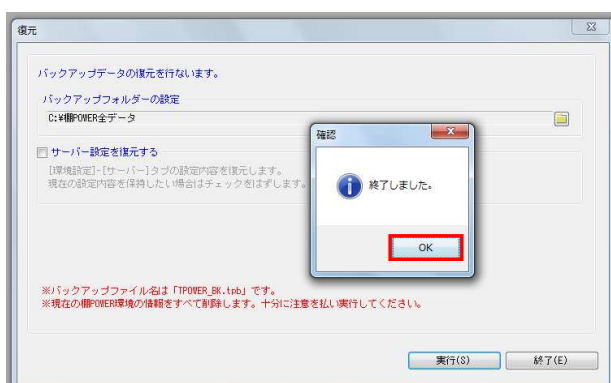


13. [実行] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。

【参考】

サーバー運用を行なっている場合は「サーバー設定を復元する」を有効にすれば、バックアップ処理を行なったパソコンのサーバー設定も含めて復元します。また、環境設定の利用環境で「サーバー」を選択している場合は、バックアップ・復元機能は使用できません。



14. 復元処理が完了すると、「終了しました」と確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。

これで全データの移行が完了です。

以上で「データ移行編」は終了です。